

The Dramatic Vessel

The Beauty of the Vessel, Perfected by the World's Ceramic Artists

世界の陶芸家たちが極めた「うつわ」の美



開館時間◇9:30-18:00(入館は17:30まで)
*12月15日は9:30-20:00(入館は19:30まで)

休館日◇月曜日

観覧料◇〔一般〕前売 800円(当日1,000円)

〔高校生・学生〕前売 500円(当日 600円)

〔小学生・中学生〕前売 300円(当日 400円)

- *20名以上の団体は、前売料金と同額で観覧できます。
- *療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方1名は半額になります。
- *生協組合員カードをご提示の組合員およびそのご家族は前売料金と同額で観覧できます。
- *企画展観覧券で常設展もご覧になれます。

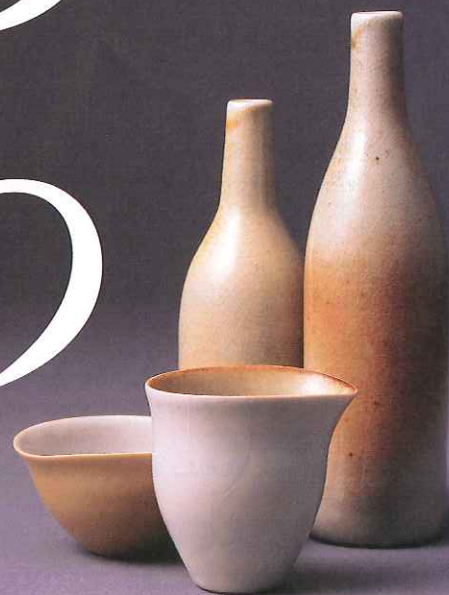
◆前売券販売所 ※販売は11月13日(火)まで
岩手県立美術館・岩手県民会館
指定ブレイカイト カワトク/アネックスカワトク/フェザン/
イトヨーカドー花巻店/東山堂書店/さわや書店本店/
江釣子SC/バル/メイプル/いわて生協/
ローソン(Lコード:21327)/セブン-イレブン/岩手県庁生協

主催◇岩手県立美術館、公益財団法人岩手県文化振興事業団
後援◇一般社団法人岩手県芸術文化協会、岩手県商工会議所連合会、
岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、
テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、
ラヂオ・もりおか、岩手ケーブルテレビジョン、マ・シェリ、
情報紙 ゆうゆう

企画協力◇滋賀県立陶芸の森

うつわ ドラマチック展

2018
11/14 wed - 12/20 thu 展



左上：ルーシー・リー《針》1960年
右上：ポール・マチュー《一瞬》1991年
右下：グイン・ハンセン・ピゴット《静物》1992年
左下：ルドルフ・スタップェル《Light Gatherer》1986年
全て滋賀県立陶芸の森陶芸館蔵

The Dramatic Vessel

The Beauty of the Vessel, Perfected by the World's Ceramic Artists

世界各地でつくられ、暮らしの中で用いられている“うつわ”は、やきもののシンボルともいえる存在です。また、現代の陶芸において“うつわ”は、用途を離れやきものの美を表現するテーマのひとつになっています。

イギリスでは用と美の融合を探求したバーナード・リーチ(1887-1979)ら先駆けとし、ルーシー・リー(1902-1995)に続く作家たちは、使う器から魅せる“うつわ”へと、その美の領域を広げていきました。戦後の国々がたどったそれぞれの道筋、そしてつくり手たちの個性。これらが“うつわ”の中に、さまざまな国々の特徴とともに映し出されています。

本展では、約150点の作品により、国内外の陶芸家たちが“うつわ”の中にドラマチックに映し出す、美の競演をご覧ください。

主な出品作家

バーナード・リーチ(イギリス)、ルーシー・リー(イギリス)、ハンス・コパー(イギリス)、グレイソン・ペリー(イギリス)、ピーター・ヴォーコス(アメリカ)、ルドルフ・スタッフェル(アメリカ)、ポール・マチュエ(カナダ)、グウィン・ハンセン・ピゴット(オーストラリア)、ボディル・マンツ(デンマーク)、ビルガー・カイピアイン(フィンランド)、クラウディ・カサノバス(スペイン)、イレーネ・フォンク(オランダ)、アストリット・ゲルハルツ(ドイツ)、張清淵(台湾)、ジェームス・クワメ・アモア(ガーナ)、富本憲吉、三代徳田八十吉、木村芳郎、桑田卓郎、新里明士 ほか

関連イベント

◆スペシャルトーク

1 「うつわの中の冒険 - 日本・世界の陶芸家たち」

講師：三浦弘子氏 [滋賀県立陶芸の森専門学芸員、本展企画者]

日時：2018年11月18日(日)14:00 - 15:30

2 「暮らしを彩るうつわの時代」

講師：広瀬一郎氏 [桃居店主]、菅野康晴氏 [新潮社『工芸青花』編集長]

日時：2018年11月24日(土)14:00 - 15:30

3 「桑田卓郎の仕事」

講師：桑田卓郎氏 [陶芸家、本展出品作家]

日時：2018年12月1日(土)14:00 - 15:30

場所：ホール

*参加ご希望の方は当日直接ホールへお越しください。参加無料です。

◆当館学芸員によるギャラリートーク

日時：11月16日(金)、11月30日(金)、12月14日(金)

各日 14:00 - (30分程度)

場所：企画展示室

*本展観覧券をお持ちの上、直接企画展示室へお越しください。



ボディル・マンツ《Cylinder No.③》2016年 個人蔵
《Cylinder No.③》2016年 個人蔵



左/富本 憲吉《外・白磁 内・色繪金銀彩角飾筒》1959年 個人蔵
右/ピーター・ヴォーコス《アイスバケット》1996年 滋賀県立陶芸の森陶芸館蔵

ナイトミュージアム

12月15日(土)は20:00までご覧いただけます(入館は19:30まで)。

コンサートやギャラリートーク、レストランでの特別メニューなど、さまざまなイベントやサービスをご用意しています。

展覧会会期中は、レストラン「パーティオ」にて特別メニューをお楽しみいただけます。

Twitter IMA_info

Facebook iwatemuseumofart.jp

岩手県立美術館の最新ニュースやイベント情報等をお届けするメールマガジンを配信中！
ご登録方法は2通り。手続きカンタン！
空メールを送るだけ！

・二次元バーコードを携帯電話で読み込む
・[ima@ok-pro.jp]に空メールを送る



※ドメイン指定受信を設定している方は「ok-pro.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いします

岩手県立美術館の管理運営は公益財団法人岩手県文化振興事業団が行っています
ベジタブリンクを使用しています

交通案内

盛岡駅東口より

岩手県交通バス盛南ループ200乗車、「県立美術館前」下車

盛岡駅西口より

徒歩20分/タクシーで5分



岩手県立美術館
IWATE MUSEUM OF ART

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字松福 12-3

12-3 MATSUHABA, MOTOMIYA

MORIOKA, IWATE, 020-0866 JAPAN

Phone.019-658-1711 Fax.019-658-1712

http://www.ima.or.jp

E-mail:info@ima.or.jp

